

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患） （TxAD : Treatment of Active Disease）

（H24年11月5日～H25年1月30日）

コース責任者：（主）八重柏隆、成石浩司、熊谷章子、大平千之、野田守
 担当講座（分野）担当 Director：歯科保存学講座（う蝕治療学分野）野田、工藤、成石
 ：歯科保存学講座（歯周療法学分野）八重柏
 ：口腔顎顔面再建講座（口腔外科学分野）熊谷他

第3学年 後期	講義	実習
	（保存修復学）	48.0時間 46.5時間
	（歯内治療学）	34.5時間 30.0時間
	（歯周病学）	33.0時間 33.0時間
	（口腔外科学）	16.5時間 12.0時間
	計	132.0時間 121.5時間

一般目標（講義・実習）

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患）（Treatment of Active Disease）では、口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織疾患のそれぞれについて、各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法に至る領域まで、臨床で求められる口腔治療学を総合的、段階的に学習する。

先行する関連講義で履修すべき内容を理解、把握し、その知識にもとづいて実習を行い、各ユニットを修得する。はじめに、齲蝕の科学、病態（診査・診断）、接着、修復材料、齲蝕の治療について3週、続いて歯内疾患の診査・診断・治療について2週にわたる講義・実習を実施する。その後、歯周病の病態と治療、診査・診断から歯周外科実習に至るまで2週間の講義と実習があり、次週に口腔治療として頻度の高い（難抜歯を除く）普通抜歯についての診査・診断・治療について修得する。最後に、各領域の偶発症・救急処置法およびコース全体としての最終筆記試験を実施する。

講義・実習日程

【講義：歯学部6階第4講義室、実習：3階臨床実習室】

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月5日（月） 1、2限	コースディレクター 八重柏隆准教授（歯周療法学） 岸 光男准教授（予防歯科学）	TxAD コースガイダンス（30分） TxAD コースで修得すべきことを理解する。 Cariology 齲蝕の発生及び進行要因を理解する。	1. TxAD コースの狙いを説明できる。 2. TxAD コースで修得する項目を列挙できる。 3. TxAD が患者治療で担う役割を説明できる。 1. 齲蝕発生への微生物の寄与を概説できる。 2. 齲蝕発生への糖質摂取の寄与を概説できる。 3. 齲蝕発生への宿主要因を列挙できる。 4. 齲蝕の進行における脱灰・再石灰化の意義を概説できる。
11月5日（月） 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教（う蝕治療学）	【天然歯実習】 齲蝕歯の観察 齲窩の開拓 罹患歯質除去 抜去天然歯を用いて齲蝕歯質の除去を理解する。	1. 適切な器具で天然歯を切削することができる。 2. 抜去天然歯を用いて齲蝕歯質を適切に除去できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月6日(火) 1限	三上俊成講師 (病態解析学)	Cariology 病理・組織学的特徴 エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕について理解する。	1. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕の発症機序、病態、進行について病理学的に説明できる。
11月6日(火) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	Cariology 齲蝕除去の理論 齲蝕除去の理論について理解する。	1. 齲蝕歯質において除去すべき歯質を説明できる。 2. 齲蝕歯質において残すべき歯質について説明できる。 3. 急性齲蝕と慢性齲蝕における感染歯質除去理論の違いを説明できる。 4. 2種類の齲蝕検知液について説明できる。 5. 齲蝕検知液の使用方法を説明できる。 6. レーザー蛍光法による齲蝕検知について説明できる。 7. 感染歯質除去に使用する器具を説明できる。
11月6日(火) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復総論 各種処置法 保存修復学の意義を理解する。 各種修復方法を理解する。	1. 保存修復学の意義、手順、特徴を説明できる。 2. 修復法の種類を列挙できる。 3. インレー修復の特徴を説明できる。 4. レジン修復の特徴を説明できる。 5. セメント修復の特徴を説明できる。 6. アマルガム修復の特徴を説明できる。 7. 接着性修復と非接着性修復を説明できる。 8. 修復物の具備すべき条件を説明できる。
11月6日(火) 4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	【人工歯実習】 V級コンポジットレジン修復 下顎小白歯のV級コンポジットレジン修復を理解する。	1. 下顎小白歯にV級コンポジットレジン修復窩洞を形成することができる。 2. 必要な歯面処理を行うことができる。 3. V級コンポジットレジン充填を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月7日(水) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復学 齲蝕の診査・診断 齲蝕の病因、病態、診断を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齲蝕の病因を説明できる。 2. 齲蝕の好発部位を列挙できる。 3. 齲蝕を分類と特徴を説明できる。 4. 齲蝕の組織像を説明できる。 5. 齲蝕の検査法を説明できる。 6. 齲蝕の鑑別を説明できる。 7. 軟化象牙質を説明できる。 8. 感染象牙質を説明できる。 9. 齲蝕の硬さ、色を説明できる。 10. 齲蝕第1層、第2層を説明できる。 11. 透照診を説明できる。 12. インピーダンス測定を説明できる。 13. レーザー蛍光法を説明できる。 14. 齲窩の開拓について説明できる。 15. 慢性齲蝕における感染歯質除去の理論を説明できる。 16. 急性齲蝕における感染歯質除去の理論を説明できる。 17. 感染歯質除去に使用する器具を説明できる。
11月7日(水) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯の切削と歯髄保護 修復の補助法 歯の切削法と切削による歯髄障害、歯髄保護、および修復の補助法について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の切削法を説明できる。 2. 高速切削について説明できる。 3. 歯の切削による歯髄刺激を説明できる。 4. フェザータッチについて説明できる。 5. 歯髄保護の重要性を説明できる。 6. 間接覆髄法を説明できる。 7. 歯間分離について説明できる。 8. 歯肉圧排について説明できる。 9. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。
11月7日(水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	【天然歯実習】 V級コンポジットレジン修復 抜去天然歯を用いた下顎小白歯のV級コンポジットレジン修復を理解する。 【人工歯実習】 Ⅲ級、Ⅳ級コンポジットレジン修復 上顎前歯のⅢ級、Ⅳ級コンポジットレジン修復を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天然歯下顎小白歯にV級コンポジットレジン修復窩洞を形成することができる。 2. 天然歯の色調にあったコンポジットレジンを選択することができる。 3. 上顎前歯にⅢ級、Ⅳ級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 4. Ⅲ級、Ⅳ級、V級コンポジットレジン充填を行うことができる。
11月8日(木) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	窩洞分類・名称 窩洞の名称、分類を説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. Black、Davisの窩洞の分類を説明できる。 3. 窩洞の名称を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月8日(木) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	窩洞の原則 窩洞形態に関する諸条件を説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. 窩洞外形を説明できる。 3. 予防拡大を説明できる。 4. 保持形態を説明できる。 5. 抵抗形態を説明できる。 6. 便宜形態を説明できる。 7. 窩縁形態を説明できる。 8. 窩洞の清掃について説明できる。 9. メタルインレー窩洞をデザインできる。
11月8日(木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	鑄造修復 人工歯, 天然歯 Class II Ⅱ級 MOD メタルインレー窩洞形成(Channel-Slice式)を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人工歯を用いて下顎大白歯にⅡ級MODメタルインレー窩洞(Channel-Slice式)を形成することができる。 2. Box式とChannel-Slice式の違いについて説明できる。
11月9日(金) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	接着歯学1 歯質接着について説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. エナメル質に対する接着について説明できる。 2. 象牙質に対する接着について説明できる。 3. ハイブリッド層(樹脂含浸層)について説明できる。 4. 3ステップ接着システムの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチング接着システムの接着メカニズムについて説明できる。 6. ワンボトル接着システムの接着メカニズムについて説明できる。
11月9日(金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	接着歯学2 接着性プライマーについて説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロリーケージ(微小漏洩)について説明できる。 2. ナノリーケージについて説明できる。 3. 接着性プライマーの構造について説明できる。 4. HEMAについて説明できる。 5. 酸性プライマーについて説明できる。 6. シラノール系プライマーについて説明できる。 7. イオウ系プライマーについて説明できる。 8. コンポジットレジンの重合収縮が窩壁適合性に与える影響を説明できる。 9. C-factorについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月9日(金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	補足実習 履修した実習内容を 確実に理解する。	1. ここまでの実習内容を確実に理解する。 2. 実習で未到達項目を遂行する。
11月12日(月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復 1 コンポジットレジン の組成と特徴を理解 する。	1. MMA系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレ ジンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレ ジンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器(ハロゲン照射器、LED照 射器)について説明できる。 5. 重合深度について説明できる。
11月12日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復 2 コンポジットレジン の組成と特徴を理解 する。	1. 修復用コンポジットレジン进行分类できる。 2. フィラーについて説明できる。 3. 重合収縮について説明できる。 4. 重合深度について説明できる。 5. コンポジットレジン _の 歯髄刺激について説 明できる。 6. ホワイトマージンについて説明できる。
11月12日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	【天然歯実習】 Ⅲ級、Ⅳ級コンポジ ットレジン修復 抜去天然歯を用いた 上顎前歯Ⅲ級、Ⅳ級コ ンポジットレジン修 復を理解する。	1. 天然歯上顎前歯にⅢ級、Ⅳ級コンポジット レジン修復窩洞を形成することができる。 2. 修復補助器具を使用することができる。 3. 天然歯の色調にあったコンポジット
11月13日(火) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復 3 コンポジットレジン 修復の臨床を理解す る。	1. コンポジットレジン修復の術式を説明でき る。 2. コンポジットレジン修復の適応症を説明で きる。 3. コンポジットレジン修復の禁忌症を説明で きる。 4. コンポジットレジン修復の補助法について 説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月13日(火) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	セメント修復1 グラスアイオノマー セメント 修復用グラスアイオ ノマーセメントを理 解する。	1. 従来型、レジン添加型グラスアイオノマー セメントの硬化機序を説明できる。 2. 酒石酸の効果の説明できる 3. 感水について説明できる 4. グラスアイオノマーセメントの利点と欠点 を説明できる。 5. グラスアイオノマーセメントと歯質の接着 を説明できる 6. グラスアイオノマーセメントと他のセメン トを比較できる。
11月13日(火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	【人工歯実習】 Ⅰ級, Ⅱ級コンポジット レジン修復 大臼 歯 【天然歯実習】 Ⅱ級コンポジットレ ジン修復 抜去天然歯を用いた 上顎大臼歯Ⅱ級コン ポジットレジン修復 を理解する。	1. 咬合関係, 隣接面形態に配慮したコンポジ ットレジン充填を行うことができる。 2. 接着性レジン充填の基本術式充填を理解し た上で適切な充填操作を行うことができ る。
11月14日(水) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	セメント修復2 グラスアイオノマー セメント グラスアイオノマー セメント修復の臨床 を理解する。	1. グラスアイオノマー修復の術式を説明でき る。 2. グラスアイオノマー修復の適応症を説明で きる。 3. グラスアイオノマー修復の禁忌症を説明で きる。 4. グラスアイオノマー修復とコンポジットレ ジン修復を比較できる。
11月14日(水) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯科用セメント 歯科用セメントの基 礎的物性の評価法を 理解する。	1. セメントの種類、特徴および用途を説明で きる。 2. セメントの JIS 規格を説明できる。 3. リン酸亜鉛セメントの特徴を説明できる。 4. ポリカルボキシレートセメントの特徴を説 明できる。 5. EBA セメントの特徴を説明できる。 6. レジン系セメントの特徴を説明できる。 7. その他の歯科用セメントを分類できる。 8. 合着用セメントの歯髄刺激を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月14日(水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	【人工歯実習】 Ⅲ級,Ⅴ級ガラスアイ オノマー修復 【天然歯実習】 Ⅲ級ガラスアイオノ マー修復 前歯部のガラスアイ オノマー修復を理解 する。	1. 修復用ガラスアイオノマーセメントを練和 することができる。 2. Ⅲ級,Ⅳ級窩洞にガラスアイオノマーセメ ントを充填することができる。
11月15日(木) 1限	大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	鑄造修復 1 鑄造修復法について理 解する。 印象再得からワック スアップまで	1. 鑄造修復の診療室および技工操作の流れを 説明できる。 2. 精密印象採得法を説明できる。 3. 咬合採得について説明できる。 4. 作業模型の種類と取扱法を説明できる。 5. ワックスパターン形成法について説明でき る。(溶融圧接法, 軟化圧接法)
11月15日(木) 2限	大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	鑄造修復 2 鑄造修復法について理 解する。 埋没から技工室での 調整法まで	1. 埋没操作について説明できる。 2. 鑄造操作について説明できる。 3. 技工室での調整法について説明できる。 4. 研磨について説明できる。
11月15日(木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	鑄造修復 印象, テンポラリーイ ンレー Class II 間接法修復における 印象採得、咬合採得、 テンポラリーインレ ー作製、模型作製を理 解する。	1. 精密印象採得および対合歯の印象採得を行 うことができる。 2. 咬合採得ができる。 3. テンポラリーインレーを作製できる。 4. 模型材の種類と用途を理解したうえで、模 型を作製することができる。
11月16日(金) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	鑄造修復 3 メタルインレー メタルインレー修復 について理解する。	1. 鑄造修復物の口腔内での調整法について説 明できる。 2. 鑄造修復物の装着法について説明できる。 3. メタルインレー窩洞の形成理論を説明でき る。 4. メタルインレー修復後の不快事項について 説明できる。(脱離, 体部破折, ガルバニ)
11月16日(金) 2限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 4 材料, 機器の特徴 1 埋没, 鑄造の理論を理 解する。	1. 鑄造収縮の補償について説明できる。 2. 埋没材の種類, 用途, 特徴を説明できる。 3. 膨張法を説明できる。 4. 鑄型の加熱について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月16日(金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	実習 鑄造修復 模型 Class II 間接法修復における 咬合器装着、模型調整 法を理解する。	1. 模型を正しく咬合器に装着することができる。 2. 作業用模型を分割し、調整することができる。
11月19日(月) 1限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 5 材料, 機器の特徴 2 埋没, 鑄造の理論を理 解する。	1. 鑄造の基本を説明できる。 2. 鑄造法の種類を列挙しそれぞれの特徴を説明できる。 3. 歯科用金属について説明できる。 4. フラックスについて説明できる。 5. 酸洗いについて説明できる。
11月19日(月) 2限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 6 材料, 機器の特徴 3 埋没, 鑄造の理論を理 解する。	1. 鑄造欠陥の種類を列挙できる。 2. 鑄造欠陥の特徴を説明できる。 3. 鑄造欠陥の防止法を説明できる。 4. 硬化熱処理, 軟化熱処理について説明できる。
11月19日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	実習 鑄造修復 ワックスアップ 間接法ワックスアッ プを理解 する。	1. 適切にワックスを扱うことができる。 2. 適切な蠟原型を作製することができる。
11月20日(火) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	補足実習 履修した実習内容を 確実に理解する。	1. ここまでの実習内容を確実に理解する。 2. 実習で未到達項目を遂行する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月20日(火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	実習 鑄造修復 埋没 鑄造修復における埋 没操作について理解 する。	1. 正しい手順で埋没ができる。
11月21日(水) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	MI (Minimal Intervention) レジニンレー修復 1 MI とレジニンレー 修復の特徴と術式を 理解する。	1. MI (Minimal Intervention) について説明 できる。 2. 補修修復について説明できる。 3. トンネル修復について説明できる。 4. レジンインレー修復の術式、特徴を説明で きる。 5. レジンインレーの窩洞形成について説明で きる。 6. クレビスについて説明できる。
11月21日(水) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジニンレー修復 2 レジニンレー修復 の特徴と術式を理解 する。	1. コンポジットレジン修復とレジニンレー 修復について比較、説明できる。 2. レジンコーティング法について説明で得 きる。 3. レジンセメントの種類を列挙できる。 4. レジンセメントの特徴を説明できる。 5. レジンセメントの用途を説明できる。
11月21日(水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラ ント学)	実習 鑄造修復 鑄造 模型上での調整	1. 鑄造術式を説明できる。 2. 作業用模型上で適切にインレーの調整研 磨ができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月22日(木) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	齶蝕以外の硬組織疾患 とその治療 歯の構造と歯に生じる疾患の概要を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 象牙質歯髄複合体を説明できる。 2. 歯の硬組織疾患（齶蝕、咬耗症、磨耗症、アブフラクション、侵蝕症、破折、歯の着色・変色、形成不全、先天異常）の病因と病態を説明できる。 3. 歯の発育障害（エナメル質形成不全、象牙質形成不全、形態異常、斑状歯、ターナーの歯、ハッチンソンの歯、フルニエの歯）と加齢変化（咬耗、亀裂、変色、添加象牙質）の病因と病態を説明できる。 4. 歯痛の機序を説明できる。 5. 動水力学説を説明できる。
11月22日(木) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	変色歯, 着色歯, 歯の漂白 変色歯, 着色歯, 歯の漂白の特徴と術式を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変色歯の原因と分類を説明できる。 2. 歯の漂白法の特徴を説明できる 3. ホームブリーチについて説明できる。 4. オフィスブリーチについて説明できる。 5. ラミネートベニア修復について説明できる。
11月22日(木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 大平千之助教 (補綴・インプラント学)	実習 鑄造修復 試適・調整・研磨・合着の術式について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適切なインレーの調整ができる。 2. 適切なインレーの研磨ができる。 3. 適切なインレーの合着操作ができる。
11月26日(月) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	中間試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
11月26日(月) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	自主学習 (出席確認無し)	
11月26日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	実習試験 与えられた臨床課題をできる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齶蝕天然歯の齶蝕を適切に除去できる。 2. III級コンポジットレジン修復を適切に行うことができる。(人工歯) 3. II級メタルインレー窩洞形成を適切に行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月27日(火) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(概論) 歯内療法 of 定義、意義、目的を理解する。	1. 歯内療法学(治療)の全体観を説明できる。
11月27日(火) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(覆髄法および象牙質知覚過敏症の病態と治療) 覆髄処置(歯髄保存療法)を理解する。 象牙質知覚過敏症の病態と治療を理解する。	1. 覆髄処置(歯髄保存療法)を説明できる。 2. 象牙質知覚過敏症の病態と治療を説明できる。
11月27日(火) 3限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(ラバーダム装着) 1. ラバーダム装着の術式を理解する。 2. 清潔不潔の概念を理解する。	1. 清潔操作に配慮したラバーダム装着ができる。
11月27日(火) 4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(間接覆髄) 1. 間接覆髄の術式を理解する。 2. 歯科用セメントの特長を理解する。	1. 清潔操作に配慮した間接覆髄ができる。
11月28日(水) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄疾患の分類と病態) 各種歯髄疾患の分類と病態を理解する。	1. 各種歯髄疾患の分類と病態を説明できる。
11月28日(水) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄疾患の病因・診査) 各種歯髄疾患の病因と診査方法を理解する。	1. 各種歯髄疾患の病因と診査方法を説明できる。
11月28日(水) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学(補足実習:歯髄疾患の病態) チュートリアル方式で各種歯髄疾患の病態を理解する。	1. 各種歯髄疾患の病態を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月29日(木) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根尖性歯周組織疾患の分類と病態) 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を理解する。	1. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明できる。
11月29日(木) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根尖性歯周組織疾患の病因・診査) 各種根尖性歯周組織疾患の病因と診査方法を理解する。	1. 各種根尖性歯周組織疾患の病因と診査方法を説明できる。
11月29日(木) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学(補足実習：根尖性歯周組織疾患の病態) チュートリアル方式で根尖性歯周組織疾患の病態を理解する。	1. 各種根尖性歯周組織疾患の病態を説明できる。
11月30日(金) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の基本術式－根管拡大－) 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管拡大)を理解する。	1. 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管拡大)を説明できる。
11月30日(金) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の基本術式－根管洗浄－) 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管洗浄)を理解する。	1. 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管洗浄)を説明できる。
11月30日(金) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(前歯の根管拡大・仮封) 前歯の根管拡大および仮封処置の術式を説明できる。	1. 清潔操作で、前歯の根管拡大および仮封処置ができる。
12月3日(月) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の基本術式－根管充填－) 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管充填)を理解する。	1. 抜髄・感染根管治療の基本術式(根管充填)を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月3日(月) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根未完成歯・外傷歯の歯内療法) 根未完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式を理解する。	1. 根未完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式を説明できる。
12月3日(月) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(前歯の根管充填) 前歯の根管充填および仮封処置の術式を説明できる。	1. 清潔操作で、前歯の根管充填および仮封処置ができる。
12月4日(火) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の偶発症と対策) 抜髄・感染根管治療の偶発症と対策を理解する。	1. 抜髄・感染根管治療の偶発症と対策を説明できる。
12月4日(火) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(外科的歯内療法) 外科的歯内療法の術式・適応症を理解する。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。
12月4日(火) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(大臼歯の根管拡大・仮封) 大臼歯の根管拡大および仮封処置の術式を説明できる。	1. 清潔操作で、大臼歯の根管拡大および仮封処置ができる。
12月5日(水) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(最新の歯内療法) 最新の歯内療法を理解する。	1. 最新の歯内療法を説明できる。
12月5日(水) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	自主学習(出席確認無し) (教員との質疑応答)	(歯内療法学の疑問点を抽出し、解決する。)

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月5日(水) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習 (大臼歯の根管充填) 大臼歯の根管充填および仮封処置の術式を説明できる。	1. 清潔操作で、大臼歯の根管充填および仮封処置ができる。
12月6日(木) 1、2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(臨床実地試験対策講義) 国家試験対策の一環として、臨床実地問題に対する考え方を理解する。	1. 国家試験対策の一環として、臨床実地問題が正答できる。
12月6日(木) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習 (大臼歯の根管治療2) 大臼歯の根管治療について、根管拡大から根管充填および仮封処置の術式を復習する。	1. 清潔操作で、大臼歯の根管治療について、根管拡大から根管充填および仮封処置ができる。
12月7日(金) 1、2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(臨床実地試験対策講義) 国家試験対策の一環として、臨床実地問題に対する考え方を理解する。	1. 国家試験対策の一環として、臨床実地問題が正答できる。
12月7日(金) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習 (実技試験) ラバーダム装着の術式を問う。	1. 清潔操作でラバーダム装着ができる。
12月10日(月) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(中間試験)(筆記) 歯内療法学についての理解を問う。	1. 歯内療法学の基礎的問題ができる。
12月10日(月) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(中間試験解説) 直前に実施した歯内療法学試験についての理解を問う。	1. 歯内療法学の基礎的問題ができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月10日(月) 3、4限	成石浩司准教授 志賀華絵助教 千葉史子助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習 (実技試験) 小白歯の抜髄・感染根管治療の術式を問う。	1. 清潔操作で小白歯の抜髄・感染根管治療ができる。
12月11日(火) 1限	村井治助教 (歯周療法学)	歯周疾患の病態 歯周疾患の病態について理解する。	1. 歯周組織の構造および機能を説明できる。 2. 歯周組織の病的変化について説明できる。 3. 歯周疾患の症状を説明できる。 4. 歯槽骨欠損の型について説明する。
12月11日(火) 2限	木村重信教授 (分子微生物学)	歯周疾患と細菌 歯周疾患と細菌(感染と免疫)について理解する。	1. 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 2. 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。 3. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分子生物学的レベルで説明できる。 4. 歯周病における感染と免疫について説明できる。
12月11日(火) 3限	藤原英明助教 (歯周療法学)	歯周疾患の診査・診断 診査・診断について理解する。	1. 歯周病の主な診査項目について説明できる。 2. 歯周疾患の診査に必要な器具を列挙できる。 3. 歯周疾患の診断を説明できる。 4. 歯周疾患の診査・診断の意義について説明できる。
12月11日(火) 4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周病患者のエックス線読影 (実習) 歯周病患者のエックス線を読影する。	1. 歯周病患者のエックス線を読影できる。 2. 読影した歯周病患者の問題点を列挙できる。 3. 咬合性外傷のエックス線像について説明できる。 4. 根分岐部病変のエックス線像について説明できる。 5. 歯周病による骨吸収ラインを示して説明できる。
12月12日(水) 1限	村井治助教 (歯周療法学)	診査の実際と治療計画の立案 実際の診査と治療計画の立案について理解する。	1. 歯周疾患の検査法を説明できる。 2. 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 3. 歯周疾患の治療計画の流れについて説明できる。 4. 治療計画立案に必要な項目を列挙できる。 5. 説明と同意の重要性を説明できる。
12月12日(水) 2限	藤原英明助教 (歯周療法学治療学)	歯周疾患の疫学 歯周疾患の疫学について理解する。	1. 歯周疾患の疫学について説明できる。 2. 歯周疾患の罹患率に影響する要因について説明できる。 3. 歯周疾患の分類について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月12日(水) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周組織の診査・歯周疾患の説明 (実習) 診査・歯周疾患の説明について理解する。	1. 歯周組織の診査項目について説明できる。 2. 歯周疾患の診査に必要な器具を列挙できる。 3. 歯周疾患患者の病態について説明できる。 4. 歯周疾患患者に対して、検査結果を用いて歯周疾患の病状について説明することができる。
12月13日(木) 1限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周基本治療 (TBI、暫間固定、PMTC、メンテナンス) TBI、暫間固定、PMTC、メンテナンスを理解する。	1. ブラッシング法の種類と特徴を列挙できる。 2. 暫間固定について説明できる。 3. PMTCの意義について説明できる。 4. SPTとメンテナンスの違いを説明できる。 5. 歯周疾患の予防(生活習慣病の改善指導)を説明できる。 6. メンテナンス法を説明できる。
12月13日(木) 2限	金澤智美助教 (歯周療法学)	歯周基本治療(SRP) スケーリング・ルートプレーニングを理解する。	1. 各種スケーラーを列挙できる。 2. スケーリングの方法を説明できる。 3. ルートプレーニングの方法を説明できる。 4. 超音波スケーラーと手用スケーラーの特徴を列挙できる。 5. スケーリング・ルートプレーニング時の適切なポジショニングを説明できる。
12月13日(木) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	TBI&PMTC (実習) TBI&PMTCを理解する。	1. ブラッシング法の種類と特徴を説明できる。 2. PMTCを模型で実施できる。
12月14日(金) 1限	島内英俊教授 (非常勤講師: 東北大学)	特別講義 最新の歯周治療について理解する。	1. 最新の歯周治療について説明できる。 2. 歯周治療の変遷について説明できる。
12月14日(金) 2限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周基本治療(咬合調整他) 咬合調整を理解する。歯周疾患の急性症状の診断と処置法を理解する。	1. 咬合の診査について説明できる。 2. 咬合調整の目的と時期について説明できる。 3. 咬合調整の原則と部位について説明できる。 4. 咬合調整に使用する器具について説明できる。 5. 歯周疾患の急性症状の診断と処置法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月14日(金) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	実習試験 (歯周病の説明・TBI)	1. 歯周病の病状の説明を適切に出来る。 2. ブラッシング法の説明を適切にできる。
12月17日(月) 1限	佐々木大輔助教 (歯周療法学)	歯周外科1 (基本) 歯周外科の基本を理解する。	1. 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周外科に用いる器具と材料を説明できる。 3. 消毒法、麻酔法を説明できる。 4. 切開法、縫合法を説明できる。 5. 歯周包帯、投薬について説明できる。 6. 出血に対する処置を説明できる。
12月17日(月) 2限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周外科2 (基本) 歯周治療後の組織の治癒、歯周ポケット搔爬術、新付着術、歯肉切除術を理解する。	1. 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 2. 歯周領域の外科手術を列挙できる。 3. 歯周ポケット搔爬術を説明できる。 4. 新付着術を説明できる。 5. 歯肉切除術と歯肉整形術を説明できる。
12月17日(月) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	SRP(模型実習) (実習) スケーリング・ルートプレーニングの実践能力を確認する。	1. スケーリング・ルートプレーニングに用いる器具を適切に使用できる。 2. スケーリング・ルートプレーニングを実施する際に適切なポジショニングを取ることが出来る。
1月7日(月) 1限	大川義人助教 (歯周療法学)	根分岐部病変と歯内一歯周病変 根分岐部病変と歯内一歯周病変を理解する。	1. Glickman の分類を説明できる。 2. Lindhe の分類を説明できる。 3. 歯根の保存療法について説明できる。 4. 歯根の除去療法について説明できる。 5. 歯内・歯周病変の成因および治療法について説明できる。
1月7日(月) 2限	八重柏隆准教授 (歯周療法学) 佐藤和朗特任講師 (歯科矯正学)	口腔機能回復治療 口腔機能回復治療を理解する。	1. 永久固定について説明できる。 2. 歯周-矯正治療について説明できる。 3. 歯周補綴について説明できる。 4. 歯周疾患患者のインプラント治療について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月7日(月) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	暫間固定と咬合調整 (実習) 暫間固定と咬合調整を実施する。	1. A-splint を説明・実施できる。 2. ダイレクトボンディング固定を説明・実施できる。 3. 咬合診査し、咬合干渉部、早期接触部を削合により調整できる。 4. 咬合調整法を説明できる。
1月8日(火) 1限	村井 治助教 (歯周療法学)	特殊な歯周病と薬物療法 特殊な歯周病と歯周領域の薬物療法を理解する。	1. 特殊な歯周病を列挙し説明できる。 2. 歯周領域の薬物療法を説明できる。 3. 局所薬物配送システムを説明できる。 4. 壊死性潰瘍性歯肉炎、薬物性歯肉増殖症、歯肉線維腫症、Down 症候群、Papillon-Lefèvre 症候群等について説明できる。
1月8日(火) 2限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	ペリオドンタルメディシン ペリオドンタルメディシンについて理解する。	1. ペリオドンタルメディシンについて説明できる。 2. 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3. 歯周病と循環器疾患および糖尿病との関連を説明できる。 4. 口腔領域の疾患と全身疾患との関連を説明できる。 5. 高齢者・有病者の歯周治療を説明できる。
1月8日(火) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習① (切開、縫合、模型使用) (実習) 歯周外科の基本作業を実習する。	1. 各種切開方法を模型実習できる。 2. 歯肉弁の種類と適応を模型実習できる。 3. 各種縫合の種類を列挙し、実習できる。 4. メス、持針器を扱うことができる。 5. 歯周外科の基本作業を模型実習できる。
1月9日(水) 1限	佐々木大輔助教 (歯周療法学)	歯周外科3 (分岐部・フラップ) 根分岐部病変の処置・フラップ手術を理解する。	1. 根分岐部病変に対する処置法を説明する。 2. フラップ手術の流れ・術式を説明する。 3. フラップ手術に用いる器具を列挙する。 4. 歯槽骨整形術と歯槽骨切除術を説明する。 5. 自家骨移植および人工骨移植を説明する。
1月9日(水) 2限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周外科4 (歯周形成外科他) 歯周形成外科手術・歯周組織再生療法を理解する。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説明できる。 4. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 5. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 6. 歯周組織再生療法に用いる材料を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月9日(水) 3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習② (フラップ手術、ルー トリセクション、ヘミ セクション) (実習) 歯周外科の基本術式 を実習する。	1. フラップ手術を模型実習できる。 2. 歯根分離術を模型実習できる。 3. 歯根切除術を模型実習できる。 4. 歯周外科処置を説明できる。
1月10日(木) 1限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	筆記試験(中間試験)	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明 できる。
1月10日(木) 2、3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	実習試験(SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニングを適切 にできる。
1月11日(金) 1、2、3、4限	八重柏隆准教授 村井 治助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 金澤智美助教 大川義人助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周外科の実際 (歯周外科実習: 豚顎 使用) (実習) 豚顎を使用して歯周 外科の基本を実習す る。	1. 各種切開法を豚顎で実習できる。 2. 歯肉の全層弁・部分層弁を豚顎で実習でき る。 3. 各種縫合法を豚顎で実習できる。 4. メス、持針器、縫合針の扱いを豚顎で実習 できる。 5. 歯周外科の基本を豚顎で実習できる。
1月15日(火) 1限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験 —口腔外科の医療面 接と診察法— 一般歯科診療におけ る口腔外科での医療 面接・診察法につい ての理解を問う。	1. 医療面接で収集すべき情報を列挙できる。 2. 医療面接で留意すべきことを列挙できる。 3. 診察法の種類を列挙できる。 4. 視診・触診の項目を列挙できる。
1月15日(火) 2限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験解説 一般歯科診療におけ る口腔外科での医療 面接・診察法を習得す る。	1. 医療面接の重要性について説明できる。 2. 医療面接法について概説できる。 3. 医療面接でのコミュニケーションの重要性 を説明できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月15日(火) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 松本 誠助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島 伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 松尾伸一助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	医療面接と口腔・頭頸部の診察 (実習) 口腔外科における医療面接と口腔・顔面・頸部の診察に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 診察の環境を整えることができる。 2. 適切なコミュニケーションをとりながら診察することができる。 3. 患者に配慮した診察を実施できる。 4. 頭頸部の診察の手順を説明できる。 5. 口腔の診察を実施できる。 6. 頭頸部の診察を実施できる。 7. 診察結果をカルテに記載できる。 8. 診察結果を患者に説明できる。
1月16日(水) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	無菌処置 消毒法と無菌処置について理解する。	1. 手指の消毒法を説明できる。 2. 手術野の消毒法を説明できる。 3. 創の処置(創の洗浄、消毒)を説明できる。 4. 抜歯後感染について説明できる。
1月16日(水) 2限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	普通抜歯 1 抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。
1月16日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 松本 誠助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島 伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 松尾伸一助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手洗いと滅菌グローブの装着 普通抜歯(実習) 外科手術における手指の消毒、滅菌グローブの装着に関する知識、技能、態度を習得する。 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 手術前の手洗いが適切に実施できる。 2. 滅菌グローブを適切に装着できる。 3. 普通抜歯に必要な器具を列挙できる。 4. 普通抜歯に使用する器具の使い方を説明できる。 5. 抜歯鉗子の種類を区別できる。 6. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月17日(木) 1限	星 秀樹准教授 (口腔外科学)	普通抜歯 2 切開、縫合、止血 切開、縫合、止血に用いる器具と方法について理解する。	1. メスの種類と特徴を列挙できる。 2. 切開方法の指標について説明できる。 3. 縫合法を列挙し説明できる。 4. 縫合に必要な器材を列挙できる。 5. 止血法を列挙し説明できる。 6. 止血に用いる器材を列挙できる。
1月17日(木) 2限	星 秀樹准教授 (口腔外科学)	抜歯の禁忌症 抜歯と全身疾患 抜歯と全身疾患とのかかわりを理解する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯を行う際に注意を要する全身疾患を列挙し説明できる。
1月17日(木) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 松本 誠助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島 伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 松尾伸一助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	普通抜歯 2 切開、縫合、抜糸 (実習) 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得する。 切開、縫合、抜糸に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 抜歯操作を行う環境を整えることができる。 2. 抜歯操作が適切にできる。 3. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備できる。 4. 切開が適切にできる。 5. 手指縫合が実施できる。 6. 抜糸が適切にできる。
1月18日(金) 1限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	抜歯窩の治癒 抜歯後の治癒過程を理解する。	1. 抜歯の正常治癒経過を説明できる。 2. 抜歯の異常治癒過程とその対処法を説明できる。
1月18日(金) 2限	杉山芳樹教授 (口腔外科学)	抜歯の偶発症 抜歯の偶発症を解剖学的知識と合わせて理解する。	1. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月18日(金) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 松本 誠助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島 伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 松尾伸一助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	実習試験 (医療面接・診察・手 洗いと滅菌グローブ の装着・抜歯・縫合)	
1月21日(月) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	修復補足講義 (1) 修復関連の CBT・一 般問題・臨床実地問題 について理解する。	1. 修復関連の CBT 問題について説明できる。 2. 修復関連の一般問題について説明できる。 3. 修復関連の臨床実地問題について説明できる。
1月21日(月) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	齶蝕治療の偶発症 齶蝕治療の偶発症に ついて理解する。	1. 齶蝕治療の偶発症について説明できる。 2. 偶発症に対する処置法について説明できる。
1月21日(月) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	齶蝕の救急・緊急処置 齶蝕の救急・緊急処置 について理解する。	1. 齶蝕の救急・緊急処置について説明できる。
1月21日(月) 4限	岡田伸男助教 (う蝕治療学)	修復補足講義 (2) 修復関連の一般問 題・臨床実地問題につ いて理解する。	1. 修復関連の CBT 問題について説明できる。 2. 修復関連の一般問題について説明できる。 3. 修復関連の臨床実地問題について説明できる。
1月22日(火) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内補足講義 (1) 歯内関連の CBT・一 般問題・臨床実地問題 について理解する。	1. 歯内関連の CBT 問題について説明できる。 2. 歯内関連の一般問題について説明できる。 3. 歯内関連の臨床実地問題について説明できる。
1月22日(火) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内治療の偶発症 歯内治療の偶発症に ついて理解する。	1. 歯内治療の偶発症について説明できる。 2. 偶発症に対する処置法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月22日(火) 3限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯髄炎の救急・緊急処置 歯髄炎の救急・緊急処置について理解する。	1. 歯髄炎の救急・緊急処置について説明できる。
1月22日(火) 4限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内補足講義(2) 歯内関連の CBT・一般問題・臨床実地問題について理解する。	1. 歯内関連の CBT 問題について説明できる。 2. 歯内関連の一般問題について説明できる。 3. 歯内関連の臨床実地問題について説明できる。
1月23日(水) 1限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周補足講義(1) 歯周関連の CBT・一般問題・臨床実地問題について理解する。	1. 歯周関連の CBT 問題について説明できる。 2. 歯周関連の一般問題について説明できる。 3. 歯周関連の臨床実地問題について説明できる。
1月23日(水) 2限	藤原英明助教 (歯周療法学)	歯周治療の偶発症 歯周治療の偶発症について理解する。	1. 歯周治療の偶発症について説明できる。 2. 偶発症に対する処置法について説明できる。
1月23日(水) 3限	八重柏隆准教授 (歯周療法学)	歯周疾患の急性症状の診断と処置法 歯周疾患の急性症状の診断と処置法について理解する。	1. 歯周疾患の急性症状について説明できる。 2. 歯周疾患の急性症状の診断について説明できる。 3. 歯周疾患の急性症状の処置法について説明できる。
1月23日(水) 4限	佐々木大輔助教 (歯周療法学)	歯周補足講義(2) 歯周関連の一般問題・臨床実地問題について理解する。	1. 歯周関連の CBT 問題について説明できる。 2. 歯周関連の一般問題について説明できる。 3. 歯周関連の臨床実地問題について説明できる。
1月24日(木) 1限	青村知幸助教 八木正篤助教 (口腔外科学)	歯性感染症1 口腔解剖の理解 歯性感染症に関する知識を口腔解剖学的知識と併せて習得する。	1. 歯性感染症の概念を説明できる。 2. 歯性感染症の病態、感染経路を説明できる。 3. 顎骨周囲・頸部の組織隙を列挙できる。 4. 歯性感染症が組織隙へ波及する経過を説明できる。
1月24日(木) 2限	水城春美教授 (口腔外科学)	歯性感染症2 歯周組織・顎骨の炎症、蜂窩織炎、上顎洞炎 各種の炎症に関する知識を習得する。	1. 歯周組織の炎症の病態、症状、治療法を説明できる。 2. 歯冠周囲炎(智歯周囲炎を含む)の発症原因、症状、診断、治療について説明できる。 3. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断法、治療法を説明できる。 4. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明できる。 5. 歯性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月24日(木) 3限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	抗菌薬・鎮痛薬の適正使用 歯科における抗菌薬・鎮痛薬の使用方法を習得する。	1. 歯科領域における抗菌薬・鎮痛薬の種類と用途を説明できる。 2. 抗菌薬・鎮痛薬の使用目的と投与法を説明できる。 3. 抗菌薬・鎮痛薬の副作用を列挙できる。
1月24日(木) 4限		自主学習 (出席確認なし)	
1月25日(金) 1限		自主学習 (出席確認無し)	
1月25日(金) 2限		自主学習 (出席確認無し)	
1月25日(金) 3限		自主学習 (出席確認無し)	
1月25日(金) 4限		自主学習 (出席確認無し)	

コース最終試験

月 日			
1月28日(月) 2限	(保存修復学)	コース最終筆記試験 ①	
1月29日(火) 2限	(歯内治療学)	コース最終筆記試験 ②	
1月30日(水) 2限	(歯周病学)	コース最終筆記試験 ③	
1月30日(水) 4限	(口腔外科学)	コース最終筆記試験 ④	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 4版	赤峰昭文ほか編	永末書店	2011年
参	接着性コンポジットレジン修復の基礎と臨床 (「日本歯科評論」特別号)	山田敏元ほか編	ヒョーロン・パブリッシャーズ	2007年
教	歯内治療学 4版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012年
推	歯内療法失敗回避のためのポイント 47:なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか	高橋慶壮 著	クインテッセンス出版	2008年
教	臨床歯周病学	吉江弘正ほか編	医歯薬出版	2007年
参	標準歯周病学第4版	鴨井久一ほか編	医学書院	2005年
参	失敗しない歯周外科:キュレタージから再生療法まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	歯周病専門用語集	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2007年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著3版	E. S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009年
教	口腔外科学 3版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2010年
参	カラーアトラス サクシント口腔外科学 3版	内山健志、大関悟ほか編	学建書院	2011年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
参	ハンディ口腔外科学 2版	新藤潤一 編	学建書院	2005年
推	口腔外科学 4版	泉廣次、工藤逸郎 監修	学建書院	2008年
推	標準口腔外科学 3版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2004年
推	最新口腔外科学 総論・各論4版 全2巻	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	1999年

成績評価方法

講義 (65点以上で合格) : 中間筆記試験、コース最終筆記試験の総合評価

実習 (65点以上で合格) : 実習 (態度、知識、技能) 評価、中間実習試験、コース最終実習試験の総合評価
講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。

備考

本コースの実習 : すべての実習に出席し、すべての提出物を提出し、検印を受けることを必須とする。

実習に対する知識 (実習内容を理解することができる)、技術 (実習内容に則した手技ができる)、積極性 (実習意欲があり積極的に行動することができる)、礼節 (礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる) を評価対象とする。

講義・実習 : 講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

オフィスアワー（各コースディレクター他）

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
野田 守	A-i	水	16:30～	時間は事前に連絡を下さい。調整可能です。
工藤 義之	B-i			
八重 柏 隆	A-i	月～金	17:00～19:00	不在の時は教室員に伝言し、メモを部屋に入れる。
成石 浩司	B-i	月～金		不在の時はメモを部屋に入れる。
水城 春美	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
杉山 芳樹	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
星 秀樹	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
熊谷 章子	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[TxAD]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
外科録画システム・オペ録	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
液晶プロジェクター	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ボート型テーブル	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生指導及びケースプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
拡大鏡・マイクロアジャスタブルTTLルーペⅡ2.5倍	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ロクラクⅡ Limitedスーパー・シルバー	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
双眼ルーペ・フリップアップタイプ	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
カラープリンター	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用